

推進工法の概要

推進工法は、地中を推進機(ドリル)で掘り進みながら、下水道管を埋設していく工法です。掘削深さが深いところや、交通の激しいところなど、開削できない特殊な事情のあるところで用いられる工法です。

【施工手順】

①推進機を設置する立坑基地を作るために、鋼矢板を打設します。



②打設した鋼矢板の中をバックホウ等で掘削していきます。



③立坑基地の底に推進機を設置して下水道管を地中内に押し込んでいきます。



④管を全て地中に押し切った後、マンホールを設置して埋戻します。



⑤最後に、鋼矢板を引き抜き、舗装を復旧して完成です。



⑥管が真っ直ぐに通っていることがわかります。



工事名
工種
撮影月日